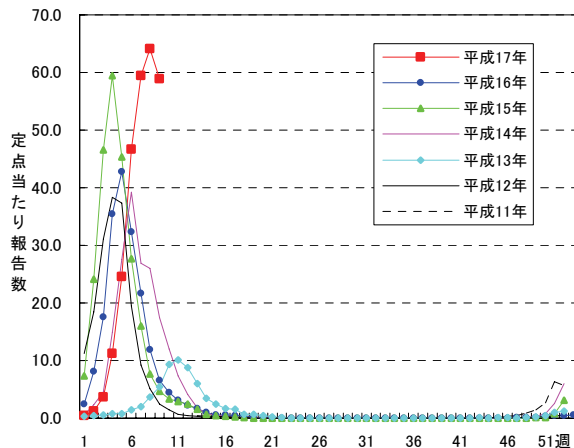


トピックス

● インフルエンザ流行状況



* 定点当たり報告数とは1医療機関あたりの患者数を表します。
週患者報告数の合計÷定点医療機関数(インフルエンザは195)

※その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

第9週の定点当たり報告数*は58.8人となり、前週(64.1人)と比べ減少しました。

インフルエンザの流行はピークを過ぎたものと思われます。

保健所(市)ごとの定点当たり報告数の詳細については「インフルエンザの保健所別報告数の推移」(3ページ)をご参照下さい。

● インフルエンザウイルス分離状況 (平成17年3月9日現在)

平成17年3月9日現在、感染発生動向調査等の目的で平成16年11月～平成17年2月に医療機関等から県衛生研究所に搬入された144検体から93株(64.6%)のインフルエンザウイルスが分離されています。その内訳は、Aソ連型インフルエンザウイルス1株(1.1%)、A香港型インフルエンザウイルス24株(25.8%)、B型インフルエンザウイルス68株(73.2%)となっています。

また集団かぜ事例からは、1月20日から28日にかけて、県内6地域の小学校(衣浦東部保健所管内、豊田市保健所管内、一宮保健所管内、豊川保健所蒲郡支所管内、加茂保健所管内、豊橋市保健所管内)から62検体が搬入されています。

豊橋市保健所管内小学校の事例からはA香港型が6株、残り5事例のうち4事例からはB型が計19株分離されています。また、2月10日には瀬戸保健所管内の小学校から12検体が搬入され、A香港型1株、B型2株が分離されています。

す。抗原性はA型については、全て今冬(2004/2005シーズン)のワクチン株と類似していますので今シーズンのワクチンで防御可能と考えられます。B型については、名古屋市内の医療機関で2月24日に2歳の女児から採取された検体からワクチン株とは異なる系統(ビクトリア系統)のウイルスが1株分離されています。残りの67株はワクチン株(山形系統)と類似しています。

以上のインフルエンザウイルス分離状況から、今シーズンの流行はB型を主流としたA香港型を含む混合流行と考えられます。今回報告しましたワクチン株とは異なるB型ビクトリア系統のインフルエンザウイルスは、3シーズン前（2001/2002シーズン）に比較的大きな流行を起こしましたが、通常は小流行に終わることが多いので、同ウイルスによる流行が拡大する可能性は低いと考えられます。流行もピークを過ぎ後半にさしかかっていますが、気を抜かずに感染予防に心がけてください。

また、定点病院の先生方におかれましては、流行後半に次シーズンの流行株となる様なインフルエンザウイルスが分離される場合がありますので、積極的な検体提出をお願い致します。

発生動向調査	11月	12月	1月	2月	合計	集団かぜ	1月	2月	合計
検体数	7	36	65	36	144	検体数	62	12	74
Aソ連型	0	1	0	0	1	Aソ連型	0	0	0
A香港型	0	2	18	4	24	A香港型	6	1	7
B型	5	17	27	19	68	B型	19	2	21

● 集団かぜの患者発生状況について

【平成17年3月10日午後3時現在】

	県		名古屋市		豊橋市		岡崎市		豊田市		合計	
	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数
計	5,185	3,224	3,402	2,036	378	230			539	328	9,504	5,818
前年同期	2,807	1,500	1,130	606	176	100			16	10	4,129	2,216

注1 県には名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市の患者数及び欠席者数を除く。

注2 患者数、欠席者数は、学級閉鎖等防疫措置を実施したものについて計上。

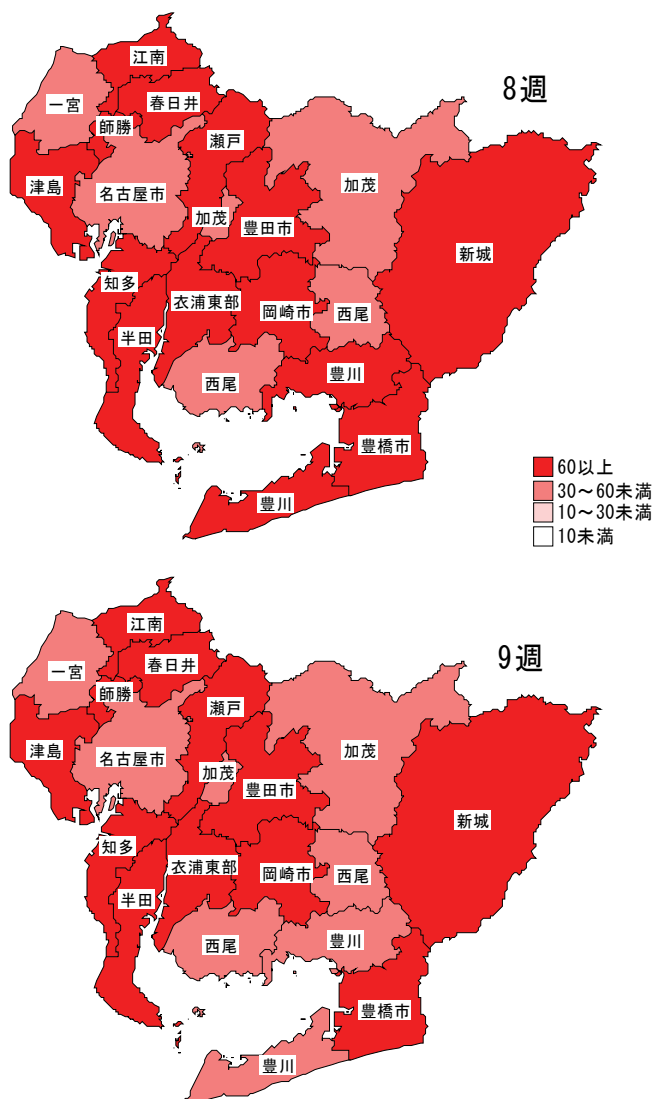
注3 欠席者数は、患者数のうち欠席した者を再掲として計上。

- ◆ 愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)
- ◆ インフルエンザ関連情報リンク (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html)
- ◆ 愛知県のインフルエンザの流行予測について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infyosoku.html>)
- ◆ インフルエンザウイルス分離状況 (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri04_05.html)

＜インフルエンザから身を守るには＞

- ① 過労を避け、十分な睡眠、栄養、保温に心がけて体調を整えましょう。
- ② 人混みへの外出をできるだけ避け、帰宅時には、うがい、手洗いをしましょう。
- ③ かかった時は、早めに医師の診察を受け、安静に保つことにより、肺炎などの合併症を防ぐよう心がけましょう。特に、高齢者の方は、インフルエンザの症状があまりでないが、長引くと肺炎など重症になる可能性があるため、かぜの症状がでた場合、早めに医療機関を受診することが大切です。なお、医療機関を受診する際には感染させたり感染してしまうことがないように、なるべくマスクをしましょう。

インフルエンザの保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



		9週	定点 当たり	8週	定点 当たり			9週	定点 当たり	8週	定点 当たり
名古屋市	○	2,489	35.6	2702	38.6	岡崎市	○	841	76.5	927	84.3
瀬戸	○	619	68.8	783	87.0	衣浦東部	○	1,113	101.2	1,162	105.6
津島	○	454	64.9	534	76.3	西尾	○	251	50.2	298	59.6
師勝	○	457	114.3	387	96.8	豊田市	○	669	83.6	715	89.4
一宮	○	661	41.3	675	42.2	加茂	○	136	45.3	147	49.0
春日井	○	903	100.3	1029	114.3	豊橋市	○	837	69.8	935	77.9
江南	○	429	71.5	393	65.5	豊川	○	500	55.6	593	65.9
半田	○	441	73.5	485	80.8	新城	○	140	70.0	127	63.5
知多	○	535	76.4	601	85.9						

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるインフルエンザの流行発生注意報は保健所(市)定点当たり10人を越えた場合に、また、流行発生警報は30人を越えた場合に発生し、10人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

◆ 2 月の一～五類感染症（全数把握対象）発生状況

平成 16 年度に発生があった 疾病名 ()内は全対象疾病数		平成 17 年 2 月			平成 16 年度 累 計 (愛知県)	備考 (2 月)
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県		
一類 感染症 (7)						発生報告無し
二類 感染症 (6)	コ レ ラ				6 [1]	
	細 菌 性 赤 痢				23	
	腸 チ フ ス				7	
	パ ラ チ フ ス				8	
三類 感染症 (1)	腸管出血性大腸菌 感 染 症	1 (1)	3	4 (1)	164 (36)	○157 4 件
四類 感染症 (30)	A 型 肝 炎	1		1	10	
	オ ウ ム 病	1		1	2	
	Q 熱				2	
	つ つ が 虫 病				3	
	デ ン グ 熱				4	
	マ ラ リ ア	1		1	4	
	レ ジ オ ネ ラ 症				13	
五類 感染症 (14)	ア メ ー バ 赤 痢	1	1	2	44	
	ウイルス性肝炎 (E 型肝炎及び A 型 肝炎を除く。)	1	1	2	8	B 型 2 件
	急 性 脳 炎				6	
	クロイツフェルト・ ヤ コ ブ 病		1	1	5	孤発性 1 件
	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症		1	1	3	
	後天性免疫不全症候群	1	7	8	72	AIDS 2 件 無症候性 6 件
	ジ ア ル ジ ア 症				1	
	髄膜炎菌性髄膜炎				1	
	梅 毒	2	2	4	35	早期顕症 3 件 晩期顕症 1 件
	ハ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症				1	

()内は無症状病原体保有者、[]内は疑似症者の再掲

◆ 五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 17 年 2 月			平成 17 年 1 月		
		県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	県 分 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	89	25	114	128	26	154
2	性器ヘルペスウイルス感染症	22	5	27	28	3	31
3	尖形コンジローマ	31	3	34	23	6	29
4	淋菌感染症	74	22	96	69	26	95
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87	8	95	88	4	92
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症						
7	薬剤耐性緑膿菌感染症		2	2		1	1

上記の報告数は感染症月報指定届出機関（性感染症：51、基幹：13 医療機関）で把握したものです。

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。

【対象疾病】

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で定める86疾病

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

- インフルエンザ81人 A型8人、B型61人、ABともに陽性1人
症状及び家族からの感染で判断したもの11人 約半分はワクチン接種済
タミフル後にても数日熱の続く例多いです。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 4歳男 インフルエンザB 二度罹患の可能性あり。
【一宮市 後藤小児科医院】
- マイコプラズマ肺炎とインフルエンザの重複感染例認めました。
【尾西市 城後小児科】
- インフルエンザはピークを過ぎたようです。(B型37 A型15)
【一宮市 平谷小児科】
- インフルエンザは花粉症と入れ替わりのようです。
【一宮市 医療法人かすがい内科】
- インフルエンザはすべてB型
【一宮市 水野医院】
- インフルエンザA型46例(24例ワクチン接種 52.2%)
B型83例(ワクチン接種者40例 46.5%)
今週がピークの様です。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- インフルエンザワクチン 未接種 A型10名、接種済の方 A型13名
未接種 B型37名、接種済の方 B型18名でした。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 8ヵ月女、1歳4ヵ月女、6ヵ月女、1歳9ヵ月男、7ヵ月男ロタウイルス(+)
インフルエンザは、未だ続いて居ります。主にB型です。
【春日町 丹羽医院】
- インフルエンザA型32名、B型58名
【師勝町 田中クリニック】
- インフルエンザ減少してます。
インフルエンザ47名中 A型21名 B型26名でした
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

- B型インフルエンザの47%、A型インフルエンザの36%は予防接種済です。
インフルエンザのうち70%はB型です。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
- 今週もインフルエンザ流行中(91例中検査陽性はまだB型が多いが、以前よりA型の割合がさらに多くなってきました。
溶連菌感染症も少し目立ちます。
その他水痘、流行性耳下腺炎散発
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- A型インフルエンザ 10歳女2名
B型インフルエンザ 5歳男、22歳女、25歳女、40歳女
【豊明市 豊明団地診療所】
- インフルエンザBが猛威をふるっています。
インフルエンザAも出てきました。
【春日井市 春日井市民病院】
- ロタ胃腸炎増加
37歳医カンピロバクター腸炎。
アデノ扁桃炎2例
インフルエンザ70例、B型47例、A型23例
水痘少々
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザ流行中
AもBも流行しているが、Aは30%くらいです。
【春日井市 かがわ北病院】
- インフルエンザのA、B比はわかりません。
【春日井市 竹内医院】
- インフルエンザ流行中(Aが増加しつつある)
【小牧市 小牧市民病院】
- インフルエンザはピークを越したようですが、Aの増加がみられるのでAの動向に要注意でしょうか。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- A型22人、B型26人
インフルエンザA、B共に多いです。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- インフルエンザB 14名
インフルエンザA 7名
【半田市 医療法人林医院】
- インフルエンザA型 6名、インフルエンザB型 39名 ピークは過ぎたようです。
【南知多町 医療法人大岩医院】

- 小児科において、インフルエンザA型 26名、インフルエンザB型 62名、中には10日前にA型に罹患し今回B型に罹患した人1名、2週間前にB型に罹患し今回A型に罹患した人1名有り。
【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】

- インフルエンザ A型 22名、B型 45名です。
【東海市 東海市民病院】
- インフルエンザ感染症やや減少傾向
【東海市 小児科ハヤカワ医院】
- インフルエンザA型男：9名、女：13名、他（43名）はB型です。
胃腸炎も流行中のようです。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

- 1歳男2名、2歳男女、3歳女 ラピッドテストロタ／アデノ（ロタ+）
4歳男2名 StrepA（+）
5歳女 イムノカードS Tアデノ（+）
1歳男女、4歳男2名、5歳女、6歳男3名、6歳女3名、8歳男女、10歳女、11歳男、12歳男 エスプラインインフルエンザA/B A（+）
1歳男4名、1歳女、2歳男2名、3歳男2名、3歳女、4歳女、5歳男3名、5歳女、6歳男女、7歳男、7歳女2名、8歳女3名、9歳男女、11歳女、12歳男、35歳男 エスプラインインフルエンザA/B B（+）
【豊田市 星が丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザA 31名
インフルエンザB 52名
【豊田市 田中小児科医院】
- 1歳女 病原性大腸菌O18
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザ A型 25名
B型 50名
【岡崎市 医療法人深田小児科】
- インフルエンザ A型 35例
B型 57例
とA：BでAが増えてきました。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 6歳男 病原性大腸菌O1 VT（-）
1歳男 病原性大腸菌O126 VT（-）
5歳女 病原性大腸菌O126 VT（-）
1歳男 アデノ
6歳男 アレルギー性紫斑病
【岡崎市 にいのみ小児科】
- インフルエンザ
A型 33（ワクチン接種者12）
B型 43（ワクチン接種者17）
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザ（A型15人 B型60人）
B型多い。
【西尾市 山岸クリニック】

- インフルエンザ A型 24名、B型 54名
A、B両方 1名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- インフルエンザ全63例
A型15例、B型 48例
【岡崎市 栗屋医院】
- インフルエンザ
A型 19人（ワクチン接種済 11人）
B型 19人（ワクチン接種済 4人）
AB型（同時陽性）3人（ワクチン接種済 0人）
臨床診断 2人（ワクチン接種済 1人）
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- A型が半数を占めるようになりました。
家族内発症が目立ちました。
【岡崎市 村山医院】
- インフルエンザまだ続いています（Aの割合が少し増えてきました）。
【碧南市 永井小児クリニック】
- F l u Aが7、Bが33
ロタが3
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザ 150名
水痘 13名
【知立市 宮谷クリニック】
- ロタウイルス性腸炎 2歳男
伝染性単核球症 9歳女
インフルエンザがまだ流行中です。B型が主流です。
【三好町 三好町民病院】
- ヘルペス口内炎 4歳女
インフルエンザA 12名（ワクチン接種2名）
B 7名（ワクチン接種2名）
【西尾市 やすい小児科】
- 5歳男 アデノウイルス感染症
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

- インフルエンザは依然として流行中
水痘が増加傾向あり。
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
- A型 5名（1名予防接種施行）、B型 31
名（7名予防接種施行）
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザA25名、B41名
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザはA型 13名、B型 90名、
A B型（同時陽性）3名の計 106名でした。
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- B型インフルエンザを今季 2度やっている
5歳女あり。
【蒲郡市 蒲郡市民病院】
- 非インフルエンザで熱の長い子どもは、マ
イコプラズマが多かった。
【豊川市 ささき小児科】

一～三類感染症の発生状況

－愛知県（名古屋市を除く。）－

- 細菌性赤痢（10週報告分） <関連リンク> 二類感染症
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#2-3>)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備考
*	一宮	68	女	2/25	2/28	3/7	推定感染地域 不明

四類・五類（全数把握）感染症の発生状況

－愛知県（名古屋市を除く。）－

- ウイルス性肝炎 1例（B型、推定感染経路：不明） 9週報告の再掲
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-2>)
- 梅毒 1例（早期顕症I期、推定感染地域：アメリカ合衆国、推定感染経路：その他）
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-11>)
- * クロイツフェルト・ヤコブ病 1例（孤発性） 10週報告分
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-5>)
- * 髄膜炎菌性髄膜炎 1例（血清型不明、3歳） 10週報告分
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-9>)

愛知県感染症情報

2005年第1週～第9週(平成17年1月3日～平成17年3月6日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	インフルエンザ(除く)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ (成人麻しんを除く。)	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																						
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	105	52,691	297	1,772	12,867	2,569	192	216	894	9	6	36	6	1,591	1	225	0	0	59	0	0	
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	89	41,631	223	1,246	9,126	1,999	161	169	691	9	2	22	4	1,200	1	180	0	0	59	0	0	
名古屋	70	70	11	14	1	16	11,060	74	526	3,741	570	31	47	203		4	14	2	391		45						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	14	2,582	58	120	402	104	1	19	39		1	3		30		5			17			
海部津島	津島	7	7	2	2		2,374		44	803	83	4	12	31					135		6			2			
尾張中部	師勝	4	4	1	1		1,395		24	310	74		5	10					2		8						
尾張西部	一宮	16	12	3	4		3,086	11	76	696	159	14	6	54					80	1	7						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	15	3,988	64	75	653	170	6	11	71	1	1	7	1	78		17						
	江南	6	6	1	2	3	1,696	24	133	596	97	16	1	69			1	1	125		10						
知多半島	半田	6	6	1	2	5	1,745	10	31	476	172	23	18	20			1		112		5			1			
	知多	7	7	2	2	7	2,496	11	247	579	95	2	6	66			1		124		2						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	2	4,171	2	74	238	130	30	8	89	1				133		4						
	衣浦東部	11	11	2	4	5	5,703	2	74	599	240	12	40	62			1		126		39			1			
	西尾	5	5	1	2	11	1,336	5	54	318	106	20	7	29			3		32		16						
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	6	2,835	4	112	1,843	205	16	8	61	6		1		108		34			21			
	加茂	3	3		1		715	6	15	209	64	5	3	10					1								
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	4,639	24	84	735	96	4	6	50			2		25		23			17			
	豊川	9	8	1	2	20	2,437	2	82	642	190	7	19	29	1		2	2	84		4						
東三河北部	新城	2	2		1		433		1	27	14	1		1					5								

